

## 第4回 安芸市都市計画マスタープラン策定委員会 議事録

日時 令和元年7月26日(金) 13:30～15:00

場所 安芸市役所 第1・2会議室

出席者 (学識経験者) 坂本委員長、門脇委員

(団体職員) 松本委員、小松(身)委員

(欠席一山本委員、横田委員、尾原委員、)

(行政職員) 高知県：秋元委員

安芸市：竹部副委員長、岡田委員、門田委員、北村委員、岡村委員、仲田委員

(欠席一國藤委員、宇根委員、小松(正)委員、安田委員、小松(仁)委員)

(事務局) 安芸市建設課：大坪課長、(自動車道推進室)門田室長、戸島主任、村永主幹

昭和(株)：西久保、上村、古賀

### 1. 開 会

### 2. 議 事

- (1) 全体構想案(・指摘事項と対応、・新たな都市計画の方針、・分野別方針)について  
・事務局からの資料説明後に、以下の質疑応答。

資料1	策定スケジュール
資料2	第3回策定委員会における指摘事項と対応
資料3	全体構想案
委員	学校跡地の土地利用について、「中心市街地、海岸部、中山間地域などの立地特性に配慮し、」とありますが、それぞれの地域に立地しているのでしょうか。
事務局	現在の小学校は都市計画区域内だけではなく、海岸部や中山間地域にもあります。現段階では、具体の活用方法は示せないため、立地に合わせた活用を検討しています。
委員	都市計画区域は旧安芸町の区域で指定されています。新たな土地活用は考えがたい山林部分の区域除外を含めて、区域見直しを検討していくべきだと考えます。
委員	人口減少の流れに対し、国ではまちの維持が困難として、人口を集約したコンパクトとネットワークを進めています。都市計画区域の拡大ではなく、見直しとした方が良いのではないのでしょうか。
委員長	安芸市は今後大きな変化があり、様々な事業が進みます。都市計画法による対策について、事前に検討しておく必要があります。 また、「誘導」という言葉が使われていますが、具体的にどうやって誘導するのか議論が必要です。
委員	現在の都市計画区域は旧行政界で指定されているため、山林部分でも確認申請が必要です。また、西側の区域界付近では、区域外の穴内地域と大きな違いがない土地利用となっています。

	これらの区域は都市計画区域から除外し、新市役所周辺は広げた方が良いのではないのでしょうか。
委員	植野工業団地は一部都市計画区域となっています。全体を都市計画区域にしてはどうでしょうか。
委員	旧安芸町で都市計画区域を設定した後、新たに開発したところについて都市計画区域に編入していません。
委員長	都市計画区域見直しの良い機会ですので、今後整理していったらどうでしょうか。
委員	現在の安芸市役所は耐震化しているのでしょうか。
委員	西庁舎は昭和56年に建設していますが、耐震基準を満たした設計となっています。
委員長	学生の回遊性について注目しています。学校が郊外に移転すると、駅周辺や中心市街地に学生が来なくなる可能性があります。 わざわざ来てもらえるような、また、人口減少が少しでも緩和するような、拠点形成やネットワークづくりが必要です。
委員	「誘導区域」が使われていますが、都市計画マスタープランにおける誘導区域とはどのように誘導していくのか。安芸市においては現在居住している方は住み続けていただくことを、一般の方にも理解していただく必要があります。 安芸市で津波が発生したらまず逃げる。津波が引いた後は生活を再建する。安芸市での誘導の考え方を整理していく必要があります。
事務局	既存市街地は住み続けていただく考えであり、誘導の使い分けを整理します。
委員	全体構想案における本町通りの位置づけが薄いように感じます。やる気が起きるような、明確な役割を設定していただきたい。保育園、安芸高校、小中学校の移転が予定されており、前向きな内容なく光が見えてこない。
委員長	都市機能が減少すれば、日常の活動も減少します。跡地利用については、イベントなどの一過性のものではなく、日常的な利用方法を議論する必要があります。
委員	跡地利用について触れていますが、現時点では具体的に書けない状況です。
委員	学校跡地は市民が期待できるものとしていきたい。室戸市では廃校を水族館として活用しています。 本町通りへ人の流れる仕組みづくりが重要であると思います。
委員	元気な高齢者が多いが、足腰が弱く閉じこもりがちな高齢者もいます。 コミュニティ活動、集いの場が、歩いて行けるところにできると、生活の支えとなり活性化につながるのではないのでしょうか。 また、梶原町の図書館などの例があるように、大きな施設ができると外部の人も利用するような交流の場となります。
委員長	安芸市の歴史・文化、自然、市民農園、食のイベントなど、子どもから大人、高齢者まで心も体も元気になる交流により、住みやすく、人も増えるまちになるのではないのでしょうか。 一過性でない日常的な使い方や、高齢者にとってはアクセシビリティ、利便性が重要となります。元気館には歩いて来られる方が多いようです。 また、契約農園などの仕組みがあれば市外からも訪れるのではないのでしょうか。
委員	魅力的な商店街づくりに向け頑張っている方もいらっしゃいますが、来訪者が少なくなり、空き店舗が増えています。市役所や学校等の都市機能が減るとさらに深刻

	<p>になる可能性もあります。空き家の活用のための情報発信や、活性化のアイデアが必要であると思います。</p>
委員長	<p>阿南安芸自動車道が開通すると市街地を通過しなくなる可能性があります。市街地に來たくなるような仕組みづくりが必要です。</p>
委員	<p>障がい者施設は津波から避難しなくてもよい場所に立地させる方が良いですが、利便性を考慮すると市街地から離れない方がよいため、交通手段とあわせて考える必要があります。</p> <p>また、ユニバーサルデザインは障がい者や高齢者に特定しない方が良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>修正します。</p>
委員長	<p>郊外に移転するにしても、施設を集約して複合拠点化することで、公共交通の便数を増やすなどネットワークを強化することができます。</p>
委員	<p>あき総合病院前駅が新設されると、安芸駅に來る人が今より減ることになります。安芸駅や中心市街地に、交流スペースや待合スペース、学生の自習スペースなどがあれば訪れてもらえるのではないのでしょうか。</p> <p>また、畑山温泉周辺に生活拠点が無いようですが。</p>
委員長	<p>生活拠点については再整理してください。</p> <p>一つの所で複数の目的を集約できるような、中心市街地に來てもらおう仕組みづくりが必要です。</p>
委員	<p>高齢者や障がい者、観光、公共施設の移転などの課題を整理して、全体構想の方針につながるよう工夫していただきたい。</p>
委員	<p>高齢者住宅に誰でもが利用できるレストラン（食堂）が入っているような、高齢者の住宅対策を検討いただきたい。コミュニティの中で高齢者の食が自立した生活ができます。</p>
委員	<p>弥っ太郎市は、小さな店舗ですが、高齢者などで賑わっています。</p>
委員長	<p>公共交通の空白地帯はどうするか。バス停などの拠点間のつながりが必要です。</p> <p>また、東西ルートから南北ルートなど、拠点間のルートを強化していく仕組みづくりが重要です。</p>
事務局	<p>高齢者対策、交流、商店街活性化、地域コミュニティなど、都市計画マスタープランだけでは困難な課題もあります。特に、地域コミュニティについては、みんなで手を携えて進まないで発展していかないと感じています。</p>
委員長	<p>全国的な傾向でも、都市計画マスタープランに関心が薄い市民が多いが、これから安芸市で大きく変わるところをどうするか。市民が主役である中で、ソフト施策の取り組みが重要となります。</p>

### 3. 閉 会